

## 海津市まちづくり委員会「第4回ふるさと定住促進検討分科会」会議録

開催年月日	平成21年10月28日(水)		
開催場所	海津市役所海津町庁舎3階「委員会室」		
分科会委員定数	14名		
開　　会	午前9時30分		
閉　　会	午前11時30分		
出席者	分科会委員		
	岐阜経済大学経済学部教授	池	永輝之
	公募市民	古	川義弘
	公募市民	本	多高洲
	公募市民	藤	田繁己
	公募市民	堀	田義郎
	公募市民	坂	本由貴
	公募市民	伊	藤祥子
	女性人材リスト登録者	安	部晶子
	高須生活学校代表	加	藤佳余子
	事務局 企画政策課 課長	木	村元康
	"      係長	後	藤政樹
	"      主任	毛	利卓司
欠席者	公募市民	村	上碩也
	公募市民	加	々本紘一
	公募市民	柴	田タヨ子
	女性人材リスト登録者	石	川晴代
	海津市自治連合会代表	諏	訪　　薫

### 会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. グループワーク  
若年世代の市外流出要因について(約50分)  
出された意見を議論し、問題や課題を現していく  
発表
4. その他  
あなたの考える定住対策は?(1人1分×14人)  
今後のグループワークのテーマおよび意見交換会について
5. 事務連絡
6. 閉会

会議録（要約）

事務局	<p>定刻になりましたので、ただいまから海津市まちづくり委員会「ふるさと定住促進検討分科会」第4回目の会議を開催させていただきます。 はじめに藤田会長よりあいさつをお願いします。</p>
会 長	<p>（あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 それでは、グループワークに移りたいと思います。 本日は、前回のテーマ「若年世代の市外流出について要因を洗い出す」について、出されたご意見について議論していただき、人口流出問題の要因となりうるか、また議論により整理されたものを課題として表していきたいと考えております。発表も含め、50分程度を予定しております。 では、各グループごとに議論に入ってください。</p> <p>&lt;グループワーク&gt;</p> <p>それでは、グループ発表をしていただきたいと思います。議論が進んだところまでで結構ですので発表してください。</p>
A 委員	<p>&lt;発表内容&gt; Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場の問題が大きい（通勤・買い物など、生活が便利な方に行ってしまう）</li> <li>・ 出産や子育ての問題（通学距離が長い、帰り道が暗く怖い、心配）</li> <li>・ 高齢者の問題（生活に不安、車が乗れなくなったときにどうやって移動するか）</li> <li>・ 学童保育のサービスが充実していない（短時間であり、3年生までしか利用できない）</li> <li>・ 出産後に復帰できる職場環境がない</li> <li>・ 都会へのあこがれ（現状での不満、都会に出れば何とかなる、自己変革）</li> <li>・ 他県、他市からの転入者は、転出することに抵抗がない。その子どもも同じ。便利なところに住みたいという気持ちがある。</li> <li>・ 小さいときから地域の行事に積極的に参加させることが有効ではないか。地域への愛着心によって定住したい気持ちを育てる。</li> <li>・ 高齢者の移動（転出）状況、地域別の転入転出データが欲しい</li> </ul>
B 委員	<p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く場所がない（車で1時間の通勤は親として進められないし、本人も大変）</li> <li>・ 土地柄やむを得ない（となりに愛知県、三重県があるので、小さい頃から都会へ出て行ける、慣れていることもあり、転出することに抵抗がない）</li> <li>・ 大きいイベントがあるが市民が全員参加できるものではない（一部の人だけ）</li> <li>・ 3町の良いところを活かしきれていない。平田のお千代保さんに来るお客さんを有効に活かしていない。海津は三川公園、南濃には養老鉄道があるが、それらを繋げていないので、地域での連携を考える必要がある。海津市として、3町の持ち味を活かしきれていないのが今後の課題</li> </ul>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>今発表していただいたご意見ですが、共通しているのが「職場」の問題でした。ただ、職場がないというのは少し違って、このあたりの地域でも仕事はあると思います。しかしながら若者が望む職種やブランド(企業)が少ないといった事はあるかと思えます。企業誘致などは分科会での検討としては現実的に難しい部分も出てくると思いますので、そういったことを踏まえた議論も必要になってくるかと思えます。</p> <p>また、子育て関係のご意見もありました。子育て支援の充実が流出問題に直結しているかどうかは定かではありませんが、結婚をして子どもが生まれるといったことを考えるとき、子育て支援策が充実しているまちを選んで転出しているのか、また、住んでみて子どもが生まれて環境が整っていないから出て行くのか、いろんな疑問もありますので、こういう部分も再検討する必要があるのかと思えます。</p> <p>Bグループのワークショップのご意見で「年をとってから帰ってくるができる、帰りたいと思える海津市でありたい」というものがありました。こうしたことが大切であり、定住の根幹なのではないかと思いました。</p> <p>ここで、池永先生からご意見をいただきたいと思えます。</p>
池永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働く場所があれば、かなり定住につながっていくだろうのご意見でした。そのとおりだと思います。しかし企業には企業の論理があり、土地価格や労働力の問題、物資の輸送など、多面的な部分から企業進出が考えられてくるものですので、簡単にはいきません。また、働く場所の問題は、ミスマッチの問題です。避けようがない問題であると思えます。若者は事務系の仕事を望むが、人手が欲しいのは現場仕事であったり。この問題は、色んな角度から検討していかなければならないと思えます。</li> <li>・ 海津市が地域資源を活かしきれているか、こうしたこともポイントになってくると思えます。海津市は交流人口が多いですが、単発的で継続性をもった事業、市内を回遊できるような仕組みも必要ではないかと思えます。</li> <li>・ 子育ての不安という話もありましたが、大垣市では地域福祉計画の中で、NPO法人クスクスが市と協働して子育て支援事業などを行っているようです。そうしたことを充実させていくこともいいのかと思えます。また、海津市のお母さんたちが3町を越えて交流できるコミュニティもあればよいのではないかと思いました。</li> <li>・ 地域への愛着、さまざまな行事に参加してもらい、そういう仕組みを考えれば、海津への愛着もわくのではないかと思いました。</li> <li>・ これまで海津の発展に尽力されてきたお年寄りが、楽しい老後を、安心しておくれるシステム作り、そういったものがどの程度できているのか。そういった目配り、気配りも必要になってくると思えます。</li> <li>・ 地域への愛着、お年寄りの安心安全な生活も課題となってくるのではないかと思えます。</li> <li>・ 安全、安心といった意見がありましたが、医療や防災などで広域連携されていることがあれば教えていただきたい。</li> <li>・ 子育ての支援制度についてですが、中学生以下の医療費の支援など教えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして「4. その他」に移りたいと思えます。</p> <p>一つ目に「あなたの考える定住対策は？」とありますが、今までグループワークを通じて意見発表をしていただきました。今日は、それぞれ委員の皆さんが思う事、「こうした現状や問題があり、解決するためにこういった対策を打つべきだ」といった感じでご自身の</p>

	意見を発表していただきたいと思います。
C 委員	若者の流出だけに限定していけば働く場所という問題がありますが、私は（定住対策は）魅力あるまちづくりに尽きると思います。出て行く人を少しでも減らし、転入者を少しでも増やすことができるような方法を今後皆さんと考えていけたらと思います。
D 委員	魅力あるまちづくりが必要だと思います。地域資源を地元の人知らない、十分に利用していないと思います。海津市民自身が、より海津の事を知る、そういったまちづくりが必要であると思います。
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住化の啓蒙、人口減のPRなど、継続的に推進する体制づくりが必要だと思います。「人口が減りますよ」「このまちに住みましょうよ」とか、場合によっては住宅や就職、結婚などの相談にもねのける民間組織、半民間組織を作って継続的にPR、啓蒙活動を行って、少しでも市民に定着したらプラスになるのではないかと思います。</li> <li>時代にそぐわない地元の古い慣習があると思います、例えば外から来た場合には「仲間に入れてやる」という思想。本当の田舎、僻地などでは「来ていただく」「ぜひこのまちに来てください」というスタンスなのですが、われわれの町は「仲間に入れてやる」というスタンスが残っていると思います。</li> <li>養老鉄道の駅が市内に5つもあります。昼間誰も乗っていないのに3、4両で走っている。そうした方がいいのかとも思うのですが、観光とか色んなことに結びつけるのに、せめて電車の塗装くらい、名古屋本線と違うものを塗って、かわいらしいものにするとか。せっきく5つも駅があるので駅前広場を整備するとか、観光に結び付けるとか、養老鉄道を活かさないといけない。収支の話とか時間の話とか出るけれども、見た目の話が一切出ない。せめてイメチェンをしてほしいなと思います。</li> </ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できるまちに尽きると思います。物や形ではなく心に重点を置いてはどうかと思います。それには子育て世代と高齢者だと思っています。私は、県の子育て支援マイスターに参加していますが100人を超えるくらい、すごく関心が高いと思います。海津市は子育て支援センター11箇所、そしてその子育てサポーターでは多くの登録者がありますが活躍する場がありません。活躍できる場所を作って、子育て世代の人が寂しくない、にぎやかで安心できる場所作りを作ってあげることが良いと思います。</li> <li>小学校単位で高齢者と子どもたちが関わりを持てる仕組みを作っていくことも良いと思います。そうした仕組みを作って心の充実を図って、桑名や名古屋にない魅力を作れば定住していただけると思います。</li> </ul>
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔から住んでいる人、住宅を買って入ってこられた人、また地域によって、それぞれ問題のウエイトが異なると思いますので、それらを考慮した検討が必要だと思います。</li> <li>小さいときから子どもに地域での関わりを持たせる。批判もあるかと思いますが、ある程度縛りも必要だと思います。そうすれば例えば職場が東京であっても、（地域との繋がりがあから）帰ってこれる、地域に溶け込めると思います。</li> </ul>
G 委員	<p>転出することに対するキーワードとして「職場」「結婚」「出産・子育て」「高齢者」の4つがあると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場については、今までのグループワークでも高学歴に見合う職場がないなどありましたが、それを言っても解決になりませんので、例えばせっきく地元就職した</li> </ul>

	<p>のに外へ出てしまう問題の一つとして住まいの問題。住むところがないから近隣の市町へ出てしまう。地元で就職して収入面など不満はないが、出会いがないとか、自分の変革したいという意欲を満たせないということで、外へ出てしまうという理由もあるかと思います。私の地元では結構空き家がありますが、雇用促進や市営住宅など、どのくらいの状況（空家）なのか把握できているなら教えていただきたいです。例えば、空き家など住宅を求めている人に対して提供するというようなことを行政が何かできるのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚に関しては、地元にいるが出会いの場がないということで外へ出てしまう。また、イベントなどを通じて若者にとって魅力のあるまちづくりを考えなければならないと思います。</li> <li>・ 出産・子育てに関しては、まず出産の時点で不安である。子育てについても色々NPOなどが活動をしているようですが、まだまだ行政の支援が十分でないと思います。Uターンの人、Iターンの人にとって住んでみたいまちってなんだろうというと、一番困るのは車がなくて買い物にいけなくなったらどうなるだろうか。今はインターネットで買い物もできますが、そういうことができない人たちはどうするのか、そういう人たちにどうやって支援をしていくのか考えていく必要があると思います。</li> <li>・ 地域で高齢者が活躍できる場、リーダーを育てて地域で貢献してもらえるとということになれば生きがいにもなるし、住民税を安くしてあげたり、そういうことがあれば移り住んでくれる人も出てくるのかと思います。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てと高齢者に対して優しいまちづくりということが本当に必要だと思います。自分自身もこの先何年もして車を運転できなくなったらどうするのという不安があります。海津市は、自然の豊かさについては本当に誇れることだと思います。私の子供も虫を捕まえてきたり、蛙を捕まえてきたり、最近そういうことがなかなか都会ではできないということもありますので、そういうところは（子育てに関しては）良かったと思います。</li> <li>・ 心の充実というか、コミュニケーションをとることが今の人たちはあまり上手ではないと思うので、交流できる場所があって、広く呼びかけて、来ていただくことができればいいと思います。子育てに悩んでみえる方も多いと思いますし、高齢者も家族があっても（家族の中で）孤独になってしまうので、立派なものでもなくても気軽に寄れるような場所があればいいと思います。対話ができる、刺激しあえるような場所がある、まちづくりを進めて欲しいと思います。</li> </ul>
H 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て中の親が安心して利用できる施設や仕組みを考えていただけたらと思います。親のリフレッシュ、子育ての相談ができる環境（同世代では解決できないことも多いので、異世代の方との交流できる場所など）があれば安心できます。</li> <li>・ 休日診療の問題ですが、海津市内で1つしかあいていない。例え病院が市内であっても、他町（自分の住んでいる町ではない）であれば、「場所」も「情報」もわからないので苦慮しています。電話でもいいので24時間相談にのっていただけるサービスがあればいいと思います。いくら医療費が無料といってもそういう状況では問題もあるかと思います。</li> </ul>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>グループワークとは違ったご意見もいくつか出ていたように思われます。</p> <p>皆さんのお話をお聞きしますと、主に「魅力あるまちづくり」「コミュニティのあり方」「安心安全なまち（心の面での検討）」「子育て」が主なものかと感じました。皆さんのご</p>

	<p>意見は整理させていただいて、次回にでもお配りさせていただきたいと思います。</p> <p>次に、今後のグループワークのテーマおよび意見交換会についてですが、テーマに関しては今日の皆さんのご意見も踏まえまして改めて考えさせていただこうと思いますが、意見交換会については、当然ながら、コミュニティ等の当事者などに話を聞く必要も在るかと思っておりますので、こういった団体、相手と意見交換を進めさせていただければよいか、ご提案がありましたらお願いします。</p>
F 委員	<p>子育ての話がいつも出ますので、海津市として任命している子育て支援の関係の方たちがいいと思います。また、社会福祉協議会などが多方面に事業をやってみえるので良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>子育てサポーターや委員さんと言われましたが、みなさんのご意見を聞いていると、当事者である「子育て中のお母さん」というように感じましたが、委員さんなどが相手ということでもよろしいのでしょうか。</p>
F 委員	<p>各委員さんやサポーターが何をしているのか、どういう役割を担っていて、実際にどういう活動をしているのかを行政の方から話を聞ければいいと思いました。</p>
B 委員	<p>以前のまちづくり委員会でグリーン・ツーリズムの提案がありましたが、これに関わっている人たちに話を聞けたらと思います。</p>
G 委員	<p>地元企業、海津市に本社がある企業、本社はないが事業所がある企業、そういうところの人材育成についての話、また、企業は従業員に対して行っている支援(産休後の支援など)について聞いてみたいと思います。</p>
事務局	<p>企業に関しては、難しい気がします。何かしらのアクションは考えますが、仮に実現した場合、意見交換の目的や情報をきっちり整理する必要があります。</p>
E 委員	<p>海津明誠高校の進路担当や就職担当の先生から話を聞いてみたいです。</p>
F 委員	<p>学生相手に意見交換を行うなら、事前にテーマなど文書で連絡して進めない、意見も出にくいかと思います。</p>
事務局	<p>当然ながら先方が事前準備できるよう配慮させていただきますし、当分科会も事前に準備をしっかりとしていく必要がありますので、今後の分科会において協議できる時間も取らせていただきたいと思います。</p>
G 委員	<p>定住自立圏構想というのが新聞に出ていました。例えば海津市を中心として養老町などの周辺町と連携するような計画はありますか。</p>
事務局	<p>定住自立圏構想の計画および検討は、今のところありません。また、海津市を中心とした連携は、都市機能を考えると難しいので、私個人的には大垣や羽島を主都市として連携体制を検討の方が現実的かと思います。</p> <p>今後の分科会の検討において、広域的に進めなければならない、また提案として、定住自立圏構想による連携を進めるといった内容になっても良いかと思っておりますので、分科会の議論の方向によっては、詳しく同制度について紹介させていただきたいと思っております。</p>

それでは、大変長時間にわたりまして、ご協議をいただきまして誠にありがとうございました。  
以上をもちまして海津市まちづくり委員会「第4回ふるさと定住促進検討分科会」を終了いたします。